

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 バッファロー  
 コード番号 3352 URL <http://www.buffalo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 裕二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日下部 直喜

TEL 048-256-6213

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	6,649	0.5	229	△12.4	314	△2.9	162	△9.8
22年3月期第3四半期	6,614	△8.6	261	22.3	324	18.9	180	30.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	7,905.28	—
22年3月期第3四半期	8,761.83	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,710	3,964	69.4	192,314.16
22年3月期	5,207	3,863	74.2	187,405.95

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,964百万円 22年3月期 3,863百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
23年3月期	—	1,500.00	—		
23年3月期(予想)				1,500.00	3,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,704	2.3	211	△17.0	280	△18.0	145	△8.6	7,033.71

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 20,616株 22年3月期 20,616株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1株 22年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 20,615株 22年3月期3Q 20,615株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第3四半期累計期間) .....	5
(第3四半期会計期間) .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) セグメント情報 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、エコポイント制度を始めとする施策特需の下支えにより緩やかな回復の兆しが見られたものの、依然として雇用環境は厳しく、円高の長期化やデフレ進行等、景気の先行きは不透明な情勢の中で推移いたしました。

カー用品市場におきましては、エコカー減税・補助金制度による新車販売台数の増加があった反面、前年度好調であったE T C車載器売上の反動減などもあり、全体的には厳しいものとなりました。

このような状況の下、当社は、カーエレクトロニクス部門商品の販売低迷及び中古カー用品部門の縮小等による売上高の減少に対して、オートバックス練馬店の新規出店が売上高をカバーしたこと、収益性の高いタイヤ・オイル・バッテリー等の消耗用品販売に注力し、また、車齢の長期化に伴う補修・整備需要等の増加に対応し、車検・整備・板金・塗装等のピット・サービス工賃部門の拡販によって粗利益率の向上を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,649,699千円（前年同期比0.5%増）、営業利益229,383千円（同12.4%減）、経常利益314,679千円（同2.9%減）、四半期純利益162,967千円（同9.8%減）となりました。

なお、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益がそれぞれ前年同期に比べ減少している要因は、主に、オートバックス練馬店の新設に伴う広告宣伝費及び消耗品費等の初期費用を計上したこと、当期より「資産除去債務に関する会計基準」を適用し、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額22,456千円を計上したためであります。

各品目別の売上高及び構成比率は次の通りであります。

品目別の売上高及び構成比率

(記載金額は百万円未満を切捨)

品目	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前事業年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
カーエレクトロニクス	1,505	22.8	1,398	21.0	1,853	21.8
タイヤ・ホイール	1,276	19.4	1,519	22.9	1,651	19.5
車内用品・車外用品	999	15.2	1,072	16.1	1,351	15.9
カースポーツ	687	10.4	605	9.1	855	10.1
ピット・サービス工賃	1,110	16.8	1,203	18.1	1,449	17.1
オイル・バッテリー	513	7.8	534	8.1	677	8.0
中古カー用品	127	1.9	—	—	167	2.0
自動車	373	5.7	310	4.7	479	5.6
合計	6,593	100.0	6,645	100.0	8,487	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記表の売上高には、ポイント引当金の減少額（前第3四半期は21百万円、当第3四半期は4百万円、前事業年度は20百万円）は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べ502,866千円増加し5,710,472千円(前期末比9.7%増)となりました。

これは主に、売掛金249,844千円、商品及び製品291,597千円、有形固定資産115,572千円及び差入保証金147,852千円の増加に対して、現金及び預金333,623千円の減少等があったためであります。

負債につきましては、前期末に比べ401,683千円増加し1,745,916千円(前期末比29.9%増)となりました。

これは主に、買掛金313,234千円及び長期リース債務90,623千円の増加等があったためであります。

純資産につきましては、前期末に比べ101,182千円増加し3,964,556千円(前期末比2.6%増)となりました。

これは主に、利益剰余金101,122千円の増加等があったためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ356,773千円減少し、652,422千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、53,338千円(前第3四半期累計期間は723,264千円獲得)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益の計上284,136千円及び仕入債務の増加額313,234千円に対して、売上債権の増加額249,844千円及びたな卸資産の増加額287,694千円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、323,092千円(前第3四半期累計期間は227,816千円使用)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入620,800千円に対して、定期預金の預入による支出651,125千円及び差入保証金の差入による支出245,000千円等があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、19,657千円(前第3四半期累計期間は142,431千円使用)となりました。

これは主に、長期借入による収入200,000千円に対して、長期借入金の返済による支出107,063千円及び配当金の支払額61,845千円等があったためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は概ね計画通り推移しており、現時点での平成23年3月期の通期業績予想につきましては、平成22年11月4日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益が1,579千円減少し、税引前四半期純利益が24,035千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は39,045千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,065,472	1,399,096
売掛金	606,713	356,869
商品及び製品	1,377,424	1,085,827
その他	404,681	409,848
流動資産合計	3,454,293	3,251,642
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	409,107	397,701
その他(純額)	204,133	99,967
有形固定資産合計	613,241	497,668
無形固定資産		
	87,150	91,185
投資その他の資産		
差入保証金	1,205,454	1,057,602
その他	350,332	309,506
投資その他の資産合計	1,555,786	1,367,109
固定資産合計	2,256,179	1,955,963
資産合計	5,710,472	5,207,606
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	590,276	277,041
1年内返済予定の長期借入金	147,204	107,124
未払法人税等	69,255	149,324
賞与引当金	74,053	138,200
ポイント引当金	32,522	36,769
その他	234,009	229,636
流動負債合計	1,147,321	938,095
固定負債		
長期借入金	240,464	187,607
退職給付引当金	219,505	198,951
資産除去債務	41,063	—
その他	97,562	19,579
固定負債合計	598,595	406,137
負債合計	1,745,916	1,344,233
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	510,506	510,506
資本剰余金	485,244	485,244
利益剰余金	2,969,298	2,868,175
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,964,963	3,863,841
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△407	△467
評価・換算差額等合計	△407	△467
純資産合計	3,964,556	3,863,373
負債純資産合計	5,710,472	5,207,606

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,614,971	6,649,699
売上原価	3,937,665	3,827,740
売上総利益	2,677,305	2,821,958
販売費及び一般管理費	2,415,340	2,592,575
営業利益	261,965	229,383
営業外収益		
受取利息	8,429	9,662
受取手数料	31,456	47,124
受取協賛金等	—	21,504
その他	28,653	15,273
営業外収益合計	68,538	93,565
営業外費用		
支払利息	5,295	6,504
その他	1,027	1,763
営業外費用合計	6,322	8,268
経常利益	324,181	314,679
特別利益		
固定資産売却益	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
固定資産除却損	11,277	8,118
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,456
特別損失合計	11,277	30,574
税引前四半期純利益	312,903	284,136
法人税、住民税及び事業税	131,432	114,522
法人税等調整額	846	6,646
法人税等合計	132,278	121,169
四半期純利益	180,625	162,967

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,344,740	2,381,648
売上原価	1,376,453	1,363,603
売上総利益	968,287	1,018,044
販売費及び一般管理費	826,181	886,791
営業利益	142,105	131,253
営業外収益		
受取利息	2,902	3,117
受取手数料	8,681	15,732
受取協賛金等	—	7,543
その他	8,603	5,766
営業外収益合計	20,187	32,159
営業外費用		
支払利息	1,778	2,104
その他	367	486
営業外費用合計	2,146	2,591
経常利益	160,146	160,821
特別損失		
固定資産除却損	94	2,818
特別損失合計	94	2,818
税引前四半期純利益	160,052	158,003
法人税、住民税及び事業税	50,200	65,478
法人税等調整額	16,842	689
法人税等合計	67,043	66,168
四半期純利益	93,009	91,834



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	312,903	284,136
減価償却費	62,424	71,099
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,062	△64,146
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△21,393	△4,247
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,174	20,553
受取利息及び受取配当金	△8,529	△9,773
支払利息	5,295	6,504
有形固定資産除売却損益(△は益)	11,277	8,087
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,456
差入保証金の家賃相殺額	72,962	77,924
売上債権の増減額(△は増加)	△111,009	△249,844
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,709	△287,694
未収入金の増減額(△は増加)	9,958	△32,908
仕入債務の増減額(△は減少)	613,143	313,234
前受金の増減額(△は減少)	△100,817	△28,408
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,306	△16,143
その他	54,658	29,981
小計	787,971	140,812
利息及び配当金の受取額	1,203	1,095
利息の支払額	△5,161	△6,602
法人税等の支払額	△60,749	△188,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	723,264	△53,338
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△529,575	△651,125
定期預金の払戻による収入	364,200	620,800
有形固定資産の取得による支出	△64,782	△59,832
有形固定資産の売却による収入	—	57
差入保証金の差入による支出	—	△245,000
差入保証金の回収による収入	—	500
貸付金の回収による収入	3,000	12,000
その他	△659	△492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,816	△323,092
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△80,343	△107,063
リース債務の返済による支出	△243	△11,434
配当金の支払額	△61,845	△61,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,431	19,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	353,016	△356,773
現金及び現金同等物の期首残高	571,453	1,009,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	924,470	652,422

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当社は、カー用品の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。